



2022年8月4日

各位

会社名 手間いらず株式会社
代表者名 代表取締役社長 渡邊 哲男
(コード番号 2477 東証プライム)
問合せ先 執行役員経営企画室長 菊地 美咲
(TEL 03-5447-6690)

(訂正・数値データ訂正)

「2022年6月期 決算短信[日本基準] (非連結)」の一部訂正に関するお知らせ

2022年7月29日に公表した「2022年6月期 決算短信[日本基準] (非連結)」について、一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、訂正箇所は を付して表示しています。

記

1. 訂正の理由

2022年7月29日の発表後に、記載数値に一部誤りがあることが判明したため、訂正するものであります。

2. 訂正内容

① サマリー情報 1ページ

3. 2023年6月期の業績予想 (2022年7月1日～2023年6月30日)

【訂正前】

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	841	4.8	559	△1.5	560	△2.1	365	△4.3	56.43
通期	1,710	4.9	1,134	△2.9	1,135	△3.5	749	△4.1	115.74

【訂正後】

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	841	4.8	559	△1.5	560	△2.1	365	△4.3	56.43
通期	1,710	4.9	1,134	△2.9	1,135	△3.7	749	△4.2	115.74

② 添付資料 3ページ

(2) 当期の財政状態の概況

【訂正前】

当事業年度における資産合計は、前事業年度末に比べ579,826千円増加し、5,378,320千円となりました。

流動資産は585,363千円増加し、5,322,646千円となりました。主な要因は現金及び預金の増加563,237千円、売掛金の増加24,399千円等であります。

【訂正後】

当事業年度における資産合計は、前事業年度末に比べ 579,826 千円増加し、5,378,320 千円となりました。

流動資産は 585,363 千円増加し、5,322,646 千円となりました。主な要因は現金及び預金の増加 563,237 千円、売掛金の増加 25,399 千円等であります。

③ 添付資料 5 ページ

1. 経営成績等の概況

(4) 今後の見通し

(次期の見通し)

【訂正前】

	次当事業年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日) (千円)	前期比	
		金額 (千円)	増減率 (%)
売上高	1,710,759	79,751	4.9
営業利益	1,134,682	△33,575	△2.9
経常利益	1,135,985	△41,805	△3.5
当期純利益	749,936	△31,657	△4.1

【訂正後】

	次当事業年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日) (千円)	前期比	
		金額 (千円)	金額 (千円)
売上高	1,710,759	79,751	4.9
営業利益	1,134,682	△33,535	△2.9
経常利益	1,135,985	△43,366	△3.7
当期純利益	749,936	△32,646	△4.2

④ 添付資料 5 ページ

1. 経営成績等の概況

(4) 今後の見通し

- ・利益予想

【訂正前】

営業利益は前期比 2.9%減の 1,134,682 千円、経常利益は前期比 3.5%減の 1,135,985 千円、当期純利益は前期比 4.1%減の 749,936 千円と若干の減少を予想しております。

【訂正後】

営業利益は前期比 2.9%減の 1,134,682 千円、経常利益は前期比 3.7%減の 1,135,985 千円、当期純利益は前期比 4.2%減の 749,936 千円と若干の減少を予想しております。

⑤ 添付資料 13 ページ

3. 財務諸表及び主な注記

(5) 財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

【訂正前】

この結果、当事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ 445 千円増加しており、利益剰余金の当期首残高は 9,569 千円減少しております。また、収益認識会計基準等を適用したため、前事業年度の貸借対照表における「流動負債」の「前受金」は、当事業年度より「契約負債」として表示することとし、21,061 千円を計上しております。

【訂正後】

この結果、当事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ 470 千円減少しており、利益剰余金の当期首残高は 9,569 千円減少しております。また、収益認識会計基準等を適用したため、前事業年度の貸借対照表における「流動負債」の「前受金」は、当事業年度より「契約負債」として表示することとし、21,061 千円を計上しております。

以 上